

危険物運送のABC

—判例・法令・保険の実務的解説—

(改訂版)

中央大学法科大学院客員教授・弁護士 山口修司
一般財団法人新日本検定協会 ケミカル・エネルギーグループ 安全環境室
三井住友海上火災保険株式会社 グローバル損害サポート部
共著

A5判・258頁・定価4,000円(税別)

危険物とは何かから、具体的な事例や業務を行う上でのポイントに至るまで、法律・実務・保険の専門家がそれぞれの立場からわかりやすく解説！改訂版では、最新の法令改正や判例に対応し、EVやリチウムイオン電池などの運送についてもていねいに解説する。

● 目 次 ●

序章 本書で扱う危険物について

第1章 危険物と運送法制

1. 荷送人の危険物通知義務の法制化(法制審議会と商法(運送・海商)改正/商法の解説)
2. 危険物の運送について重要な法律の概説(総論/商法(運送・海商)/国際海上物品運送法/モントリオール条約/約款の規定)
3. 危険物運送責任に関する判例(概観/最高裁平成5年3月25日判決(さらし粉事件)/東京高裁平成25年2月28日判決(上告棄却確定)(NYK ARGUS 対荷主事件))
4. 国際海上物品運送法と危険物(国際海上物品運送法/ヘーグ・ルールズと危険物/英国における解釈/米国における解釈/世界の動向/アメリカの新判例/ロッテルダム・ルールズ)
5. 国内運送に関する危険物判例(国内運送と危険物に関する荷送人の責任/東京地裁平成27年11月26日判決(運送中コンテナ内貨物が爆発した事件)/東京地裁平成28年7月14日判決(タンクローリー横転炎上事件))
6. 危険物製造者の責任(概観/東京高裁平成26年10月29日判決(上告棄却確定)(NYK ARGUS 対製造物責任事件))
7. 危険物運送にかかわる当事者の責任のまとめ(荷送人/製造業者/運送業者)

第2章 危険物の海上運送における荷送人に係る規制

1. 危険物運送における国際規則と国内法令(危険物運送の安全確保/国連勧告の概要/危険物の海上個品運送に係る国際規則/海上における危険物運送に係る国内法令/危険物の海上ばら積み運送に係る国際規則/海上以外の輸送モードにおける危険物運送)
2. 危険物の海上運送(海上運送上の危険物/海上運送禁止危険物/危険物の品名・国連番号の決定/容器、包装及びオーバーバック/危険物の容器への収納方法/危険物を

収納する容器への標札、品名等の表示/コンテナによる危険物の運送/危険物のコンテナへの収納方法/危険物の隔離/コンテナへの表示/積付検査/収納検査/少量危険物及び微量危険物/海洋汚染物質/特別措置/書類の供与等/コンテナの船積み前の確認等/危険物運送船適合証/危険物のばら積み運送)

3. GHSと危険物の危険性評価の試験方法及び判定基準(GHS(SDS・GHSラベル)/GHSと国連勧告/固体・液体判定試験/国連の「試験方法及び判定基準のマニュアル」/「試験方法及び判定基準のマニュアル」の概要)
4. 2025年1月1日に施行された危告示の改正概要(危告示別表第1に新規に追加された危険物/木炭等に係る運送要件の変更(危告示別表第1関係)/環境有害物質(UN3077及びUN3082)への特別規定SP375の追加/有機酸化物に該当する化学物質の加除)

第3章 危険物運送と保険

1. 危険物の運送と保険
2. 危険物の運送中・保管中におけるリスクと事故(危険物そのものに対するリスク/第三者に対する賠償リスク/【コラム】HNS条約について/【コラム】天津爆発事故)
3. 危険物の運送に関連する保険と補償の対象となるリスク(国内物流(内航、運送)に関する貨物保険/国際物流に関する貨物保険/【コラム】製造物責任と生産物賠償責任保険について/【コラム】EVを搭載したPCCの火災事故/危険品輸送賠償責任保険について/危険物の運送と船舶保険)
4. 事故防止のための対策について(適切な貨物の申告/適切な運送ルート/適切な荷姿・梱包・積付け/【コラム】大規模災害における復旧対策のポイント)

索引

●改訂版執筆筆分担●

第1章 山口修司

第2章 一般財団法人新日本検定協会 ケミカル・エネルギーグループ 安全環境室
(※所属は執筆・編集当時、五十音順)
柴宮義文、山本 弘

第3章 三井住友海上火災保険株式会社 グローバル損害サポート部
(※所属は執筆・編集当時、五十音順)

塩坂裕司、仲井孝佑、永見 玄、藤原知史

アマゾン、楽天BOOKSからご購入いただけます。

